

2026年6月10日

## アクティオの施設・設備や取り組みを紹介 スペインレンタル協会関係者が東京 DL センターを視察

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2026年5月18日(月)にスペインレンタル協会の訪日団を東京 DL センター<sup>※1</sup>に迎え、施設視察および情報交換を実施しました。



【集合写真】



【スペインレンタル協会より贈呈された記念楯】

日本のレンタル業界における取り組みや技術、サービス体制への理解を深めることを目的に、スペインレンタル協会関係者やスペイン各地域の建設機械・設備レンタル会社の経営者・責任者らが来日しました。

施設視察では、アクティオ東京 DL センターの見学を実施し、アクティオのレンタル事業における機械管理やサービス体制、現場対応に関する取り組みを紹介しました。また、レンタル業界を取り巻く市場環境や課題、サービス品質向上に向けた取り組みについて、質疑応答を交えながら活発な意見交換を行いました。

質疑応答では、中東情勢の変化による物流・資材価格への影響を踏まえた事業環境への対応や、レンタル建設機械の保有数や性能、稼働状況などの管理方法、導入機械のメーカー選定などについて質問が寄せられ、日本におけるレンタル業界の動向やアクティオの取り組みについて紹介しました。

今回の視察を通じて、日本とスペイン双方のレンタル業界における知見を共有し、相互理解を深める貴重な機会となりました。

アクティオは今後も、国内外の業界関係者との交流を通じて、レンタルサービスのさらなる価値向上に取り組んでまいります。

<sup>※1</sup>東京 DL センターは、2016年に設立されたアクティオの首都圏中核拠点です。「DL」は Delivery(配送)と Laboratory(研究所)を意味します。整備済み機械を大量にストックする自動ラック倉庫を備えた配送拠点としての機能と、研究開発・レンタル推進・人材育成の機能を兼ね備えた施設です。

## ■当日の様子



## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せつかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持つ

てサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、川上

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp